舞鶴医療センター 教育目標

- が、 1、 看護倫理に基づいた行動がとれるように人間性豊かな感性をはぐくむ 2、科学的根拠に基づいた看護実践力を育成する 3、社会の動向、医療のニーズに対応するため、主体的学習を支援し、質の高い看護サービスを提供できる人材を育成する

	到過	達目標		役割	4月	5月	6月	7月	8月	9月	1 0月	1 1月	1 2月	1月	2月	3月	課題レボート		
V				・消耗品・製剤等 物品管理における 係のメンバー	採用時研修 /1.2.5.12.19	侵襲の高い看護技術 (採血)/10	侵襲の高い看護技術 (吸引)/14	フィジカルアセスメント /5		侵襲の高い看護技術(膀 胱留置力テーテル) /6	倫理研修 /4	リフレッシュ研修 /1	輸血 /6	麻薬 /10	リフレクション /3				
			合 (	(SPD係)					静脈内留置針	7.0	筆記試験			,			-20151		
					IVナース				/2		/6		2						
ルル	看護実践(	に必要な基 を習得する			輸液管理受講			実際の看護場面でKYT (レベルⅢと)		静脈内留置針 部署で演習	静脈内留置針 口頭試問・実技試験		合格者     NナースレベルⅢ認定			$\longrightarrow$	その人らし さを支える 看護とは		
1			現場	-	夜勤がリエンテーション		夜勤一人立ち					入院受け	<b>→</b>	入院受け	指示受け		-		
			育		夜勤完全シャドー1回		(6月末目途)					オリエンテーション		(指示受けは除く)	病棟間研修	<del>&gt;</del>			
	* 年間を通じて必要時プリセプター面談を行う  ・ 海耗品・製剤 新:メンパーシップ/31 フィジカルアセスメント 倫理研修/11 臨床推論											1	1						
レベ	護を実践す	基づいた看 する	研集 修合	消耗品・製剤 等物品管理に おける係の		新:メンバーシップ/31			フィジカルアセスメント /9		開達研修/			臨床推論 /31			エピデンス		
JL I	②後輩と! る	と共に学習す		リーダー ・プリセプター							QQシャドー研修 改名:フィジカルアセス;	 		>	<del>-</del>		に基づいた 看護とは		
			•	・小チームリーダー サブリーダー ・日々のリーダー ・プリセブター	カンファレンス・ケース スタディについて(動画		医療安全 模擬カンファレンス		チームリーダー研修① /28		医療倫理·看護倫理 /31	ケーススタディ発表会		チームリーダー研修② /23					
			* .		視聴)		KYT /3		720		,	/8		720					
レベ	①個別性を 看護を実践 の表護事業	を重視した 践する	修														自部署の看 護力を高め るあめの自		
ν II	ア 後辈!	護実践者とし 後輩に支援的役 果たせる	$\forall$				インシデントカンファレ ンスの実施	レベル I とKYTの実施		日々のリーダー オリエンテーション	日々のリーダー シャドー研修	日々のリーダー開始 ケースカンファレンス実	布	1	I	<u> </u>	己の役割遂		
			現場 教育				<ul> <li>退院前後訪問も含めた追</li> </ul>	際支援の実施				, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	I				_		
_				リーダー	新:業務改善QC活動	業務改善計画立案	・ケーススタディ リーダーシップ研修/7			【倫理】	T	①業務改善成果発表		文献レビューの発表		Т			
レベ	①後辈の	輩の学習を支援 ームリーダーと 役割行動がとれ	÷ .	<ul><li>OJTの指導</li><li>診療科ラダー講師</li></ul>	文献レビュー(動画 視聴)	文献レビュー計画立案	J J J J WIND/ I			倫理問題の解決 /27		/29	/24						
	する ②チーム!		修			<ul><li>部署内の看護の質・業務</li></ul>	業務改善中間指導(個別対応)   一						<u> </u>				意思決定を 支える看護		
IV	して役割行る		現場教育			・高度かつ複雑な看護を必要とする患者の倫理カンファレンスの開催 ・専門学会や近畿グループ主催の研修、看護協会の研修に2回以上参加(9月までに1回、1月までに1回)											とは		
V			ê ·	代行者 実習指導 学習会のリーダー			看護管理研修20H (e ラーニング)	/		<i>,</i>				【倫理】 虐待					
JI. V			4E (	(院外研修の (連講習も含む)			,	,		,				/			自部署の看		
前期	管理・教育	教育的役割モ	現場 教育				<ul><li>多職種倫理カンファレン</li></ul>	・倫理の研修の後輩への 伝達									護サービス を向上させ るための自		
V	デルとなり に取り組む	り、研究的 む	集合	-									研究論文提出(教育担当 師長・看護部長室)	看護研究・QC活動発表 /24			るための自 己の取り組		
\ V		Ļ	修修	-		・四空計画書た作成させた	: 囲禾昌今に恨中 ( 中本 55	教会切出表議師長入 坦山	P)					/					
後期			現場 教育			<ul><li>多職種倫理カンファレン</li><li>看護研究もしくは組織様</li></ul>	発計画書を作成させ倫理要員会に提出(出来次第、教育担当着護師長へ提出) 職権機関力ファレンスの開催調整とリーダーシップ 職権開発もしくは組織機断的に働きかけられるようなGO活動とする。 どちらも研究的思考で取り組み、最終的には院外発表をする。												
プリセプター	1. 新人に	1. 新人にとって最も身近な相談者となる。 る. 新人の役割モデルとなる	集合口			フォロー② 関係性支援				新:フォロー③ 関係性支援					振り返り④ /14	次期プリセプター (プリセプター①) /14			
	る		悠			/24 プリセプター評価後リフ	プリセプター面談 プリセプター評価後リフ			/13 プリセプター面談 プリセプター評価後リフ					プリセプター面談 プリセプター評価後リフ	/14			
	ルとなる		現場 教育			レクション	プリセプター評価後リフ レクション			プリセプター評価後リフ レクション					プリセプター評価後リフ レクション				
全員職員	患者急変8 基本的な行 できる	時に必要な 行動が実践	集 合 挿 研 B	i管介助 LS		BLS研修 /	BLS研修 /	BLS研修 /		BLS研修 /	BLS研修 /	BLS研修 /	BLS研修 /	BLS研修 /	BLS研修				
	キャリア	アップを目 研鎖する	各自		開催される院外研修を活用し学習する														
以 以	OJTIC Z+	こ活かせる Fル学習	集し	バル∇以上	(動画学習)———		$\longrightarrow$	教育スキル① /4		教育スキル② /3		教育スキル③ /22			教育スキル④ /7				
五/		カスキルと	研し	ベルⅢ以上		APRINeラーニングの受講(必須) 個別支援										1			
研究		究活動を促 進	修文	デーススタディ 対象者から		看護研究の方法(対面・	可面・動画配信)												
看護		る知識・技	集合																
補助	術の習得	OVIDM - IX	研		オリエンテーション		接遇研修	技術演習		技術演習		技術演習		技術演習					
者			修													<u> </u>			